

# 2019年開運 新年 日本橋七福神巡り

(東京都新宿区)

昨年の深川七福神巡りに続き、本年は日本橋七福神巡りです。



七福神めぐりは、江戸時代からの新年開運行事で、縁起行事です。日本橋三越ライオン前をスタートして、日本橋を歩き、日本橋に戻りました。打ち上げは有志による日本橋本町の蕎麦屋さん、新年会を寿ぎました。

日時：2019年1月7日（月曜日）

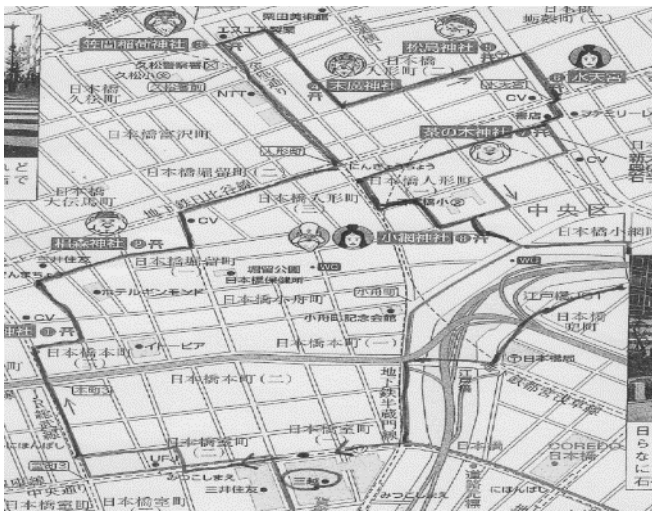
集合：日本橋三越 正面ライオン像前  
13時00分～16時30分日本橋

参加費：1,000円（資料代他）

参加者：28名

リーダー：

順路：三越前→コレド1→福德神社→  
宝田恵比寿神社（恵比寿）→ 梶森神社（恵比寿）→  
人形町末廣跡地→笠間稲荷神社（寿老人）→  
末廣神社（毘沙門天）→松島神社（大黒天）→  
水天宮（弁財天）→人形町界限散策・休憩→  
茶ノ木神社（布袋尊）→谷崎潤一郎生誕の地→  
鯨と海と人形町の碑→小網神社（福祿寿・弁財天）→  
東京証券取引所→兜神社→日本橋→解散→  
新年会（有志）



## 福德神社

新築のような感じのきれいな神社でした。再開発で変貌を遂げた街「日本橋」の中で、ビル群と一線を画したランドマークして誕生したのが福德神社です。貞観年間（859～876年）にはこの地に鎮座していたという稲荷神社が、ルーツだそうです。

「東京福巡り」の一社で、宝くじの当選祈願で多くの人が訪れるのだそうです。江戸の宝くじ「富くじ」の発行を許された、数少ない江戸幕府公認神社であったことが理由だそうです。

## 寶田恵比寿神社（恵比寿） 日本の神様です



小伝馬町駅に近い街角にありました。真向いの広場にテントがあり、正月の縁起物が並べてありました。べったら漬けもありました。

徳川家康江戸入府以前は宝田村の鎮守社だったといわれています。江戸の町の拡張により当地へ遷座したところ、当地は金銀為替、駅伝、水陸運輸と重要な役割を担うところとなり大変賑わったそうです。

恵比寿さまは、イザナミ・イザナギの間に生まれた子供を祀ったものです。「大漁追福」の漁業の神として、福の神として「商売繁盛」や「五穀豊穰」をもたらす神となっています。

## 梶森（すぎのもり）神社（恵比寿） 日本の神様

ひそやかに、しかし正月らしい旗のぼりを掲げてありました。平将門の乱を鎮定するために、藤原秀郷が戦勝祈願をした所といわれています。太田道灌が雨乞い祈願のため、山城国伏見稲荷の伍社の神を室町中期に勧請して厚く信仰したそうです。



神田・柳森神社、新橋・鳥森神社とともに「江戸三森」として信仰されています。「宝くじ」にちなんだ富塚の碑がありました。

## 人形町末廣 跡地 日本の橋人形町三丁目



1970年（昭和45年）に閉場して、跡地のビルの正面に石碑が設置してありました。昔の賑わいを想像しました。